別紙

議事の経過

午後１時３０分　開会

１　開会

司会　　皆様おはようございます。これより、第６回上尾伊奈資源循環組合ごみ広域処理施設建設検討委員会を開催いたします。

私は、司会を務めさせていただきます上尾伊奈資源循環組合の斉藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の出席者は、委員１２名のうち１０名でございます。

「上尾伊奈資源循環組合ごみ広域処理施設建設検討委員会設置条例」第６条第２項の規定に基づき、委員の過半数が出席していることから、会議が成立することをご報告いたします。

また、会議の公開についてですが、本日は現地視察のため非公開とさせていただいております。

視察先は、町田市バイオエネルギーセンターとなりまして、メタンコンバインド施設、粗大ごみのリユース施設、排ガス中のＣＯ２を使っての実証試験など視察する予定となっております。

２　委員長挨拶

司会　　それでは次第の 2、委員長挨拶でございます。荒井委員長よろしくお願いいたします。

荒井委員長　　こんにちは。昨年度始まったこの検討委員会も今回が６回目となり、今年度中に基本計画を策定することとなります。本日見学する町田市バイオエネルギーセンターは全国的にも最先端の施設のひとつであると思いますので、じっくりと見学し、今後の検討に役立てていければと思います。本日はよろしくお願いします。

３　報告

司会　　それでは、次第の３「報告」です。

はじめに（１）住民説明会開催結果概要について、事務局よりご報告いたします。

事務局　　２月の中間答申にて、検討委員会より、施設整備における検討経過を市民町民の皆様に分かりやすく周知し、幅広く意見を聴く機会を設けるよう要望がありましたので、組合は３月に伊奈町及び上尾市にて住民説明会を開催いたしました。開催回数や参加人数は次第に記載の通りとなります。

司会　　ただいまの報告について、委員の皆様からご意見やご質問はありますか。

■■委員　　上尾市で開催された説明会に参加しましたが、参加人数が少ないと感じました。理由は何でしょうか。

事務局　　建設予定地が伊奈町であることから、当初から、上尾市側の参加者は少なくなるのではないかと予想しておりました。実際、建設予定地から離れた上尾市西側の大石や大谷、平方地域では参加者が少ない傾向がありました。今回の説明会の開催にあたりましては、両市町の広報紙やホームページ、ＳＮＳを活用して案内をしておりましたが、このような結果となりました。

司会　　次に（２）今年度の検討委員会予定について、事務局より報告をお願いします。

事務局　　今年度は、本日を含めて４回開催予定です。次回以降の日程と開催場所は次第に記載の通りとなりますので、日程の確保をよろしくお願いいたします。

司会　　ただいまの報告について、委員の皆様からご意見やご質問はありますか。

（なし）

４　視察

町田市バイオエネルギーセンターの以下の施設を視察
- ・熱回収施設（メタンコンバインド施設）
- ・リサイクルショップまちえこ
- ・排ガス中ＣＯ２の有効利用技術の実証実験施設

【以下、質疑応答】

■■委員　　ハイブリッドにすることで建設費用や運転費用が増加するデメリットがあると思いますが、なぜハイブリッドを採用したのでしょうか。

町田市　　新設工場の建て替えが難航していたほか、当初の市の計画では生ごみの減量目標を２２，０００ｔ（－４０％）としており、家庭用コンポスト等で３，０００ｔは見込めましたが、それ以外の施策がなく、ごみゼロ市民会議を開催したところバイオガス化施設が意見としてあがりました。町田市のごみ減量計画での生ごみ減量の目標達成のため、市民の声を採用して処理方式を決定する形としました。たしかに、焼却施設に比べるとコスト増となっています。

■■委員　　事前質問書のＮＯ．１２ではＣＣＵＳの実証実験について今後は事業化を目指すとしていますが、事業化とは具体的に何を想定しているのでしょうか。

運営会社（株式会社タクマ）　実証実験中のものについては、試験段階でありイチゴの販売までは考えていません。

自治体のＣＯ２を削減したい、農園側の光熱費等のコストを下げたいというニーズを結ぶものとして、自治体で設備を導入し、そこに農園を誘致するような事業を考えています。

町田市　見学中に質問がありましたが、戸別収集と有料化は２００５年に開始しました。

■■委員　事前質問のＮＯ．３の「さらなる対策」とは具体的には何を考えているのでしょうか。

町田市　リチウムイオンに関しては、排出方法が分からず保管している市民が多いことをアンケート結果から確認しています。自治体としては更なる啓発を考えています。

■■委員　焼却方式よりもコストが増加するとわかった上で進めたメタンコンバインドについて、現時点で市としてどのように考えていますか。

町田市　竣工後、１５，０００人程度の方が視察に来ています。他にはなかなかない施設ですので、市としてもコマーシャルに取り組んでいるところです。ごみ処理でこんなことができるんだと気づいていただく方も多く、コスト面としては、皆さんにごみ処理の可能性に気付いていただいたり、他の自治体への波及効果といった広告としての意味があると考えています。

午後４時　閉会